

【報道関係各位】

2009年10月8日
Japan Partners Against Pain®

「JPAP®スマイルアワード 2009」 最優秀賞に森下 香織 さん(仮名)、神馬 せつを さん ～がんの痛み治療を受けて生きる力を取り戻し がんと向き合い前向きに暮らす患者さんや支援者の活動を表彰～

適正な痛み治療の普及と理解の浸透を目指し、医療従事者が設立した非営利の任意団体JPAP® (Japan Partners Against Pain® 代表世話人:JR東京総合病院 院長 花岡 一雄)^{*1}は、10月4日(日)に、「JPAP®スマイルアワード 2009」の最優秀賞、優秀賞を発表しました。

「JPAP®スマイルアワード^{*2}」とは、“がんの痛みを取り除くことで、患者さんが、治療に取り組む気力や体力を得る”という考え方にに基づき、がんと向き合い前向きに生きる患者さんや患者さんをサポートされる周囲の方々の活動を支援するJPAP®の取り組みです。本年は「患者さん部門」および「支援者部門」の2部門について、全国から39名50作品のご応募をお寄せ頂き、JPAP®役員による厳正な審査の結果、下記の通り最優秀賞、優秀賞が選出されました。

【最優秀賞】

- 患者さん部門: 森下 香織 さん(仮名)
スマイルエッセイ「最高に“今”が幸せ」
- 支援者部門: 神馬 せつを さん
スマイルエッセイ「生かされていること」

【優秀賞】

- 患者さん部門: 播磨 正一 さん
スマイルアート「肝を蓋いても」ほか4点
- 支援者部門: 伊藤 ヨシ子 さん
スマイルエッセイ「痛みの向こうにありがとう」

患者さん部門の最優秀賞は、森下 香織 さん(仮名)に贈られました。森下さんは小学校の教員をされており、2007年秋より、がんの治療のために休職されましたが、無事に治療を終えられ、2008年秋に教壇へ復帰されました。エッセイに込められた復職した時の喜びや感動、がんの闘病に前向きに取り組む姿勢が高く評価されました。また、支援者部門の最優秀賞は、神馬 せつを さんに贈られました。神馬さんはご自身もがんと闘いながら、周囲のがん患者さんのために「自分史」の編纂をお手伝いするボランティア活動に取り組まれています。一人ひとりの患者さんにとってかけがえのない一冊を作り、患者さんの笑顔を取り戻すことに新たな生きがいを見出された姿が高く評価され、最優秀賞に選ばれました。

JPAP®代表世話人の花岡 一雄 先生(JR東京総合病院 院長)は、「この度、2回目を迎えた『JPAP®スマイルアワード』には、昨年よりさらに多くの方々からご応募をいただきました。お寄せいただいた作品のすべてが笑顔や元気を与える前向きなメッセージに溢れていました。今回受賞された方々のみならず、アワードにご応募いただいたすべての方々に、今後も活動を続けていただき、笑顔の輪が一層広がっていくことを願ってやみません。」と述べています。

現在、がんは日本人の死因のトップ^{※3}であり、もはや国民病といっても過言ではありません。また、がん患者さんの約 8 割は、がんに伴う「痛み」(がん性疼痛)を経験すると言われています。このような痛みは、患者さんからがんと闘う意欲や、ご家族と過ごす大切な時間を奪います。このように、がんの痛みは多くの日本人が直面する極めて身近かつ重大な問題です。2007 年 4 月には「がん対策推進基本法」が施行され、治療の初期段階からの緩和ケア実施が、重点的に取り組むべき課題として掲げられました。今後、日本のあらゆる医療現場に緩和ケアが導入され、患者さん一人ひとりのニーズに合わせた適切な治療の実践が一層求められていきます。

以上

※1 「JPAP[®]」について:

「JPAP[®]」は、適正な痛み治療の普及と理解の浸透を目指し、2003 年 11 月に医療従事者が設立した非営利の任意団体です。2009 年 9 月 30 日現在、2,644 名の医療従事者が会員となっています。

詳しくは、JPAP[®]のウェブサイト<http://www.jpap.jp>をご覧ください。

※2 「JPAP[®]スマイルアワード」について:

「JPAP[®]スマイルアワード」とは、“がんの痛みを取り除くことで、患者さんが、がんそのものと取り組む気力や体力を得る”というJPAP[®]設立の理念に基づき、がんと闘う患者さんや周囲の支援者の方々の前向きな活動を支援することを目的として 2008 年よりJPAP[®]が実施しているアワードです。

※3 「厚生労働省・平成 19 年人口動態統計」より引用

＜本件に関する報道関係者のお問い合わせ先＞

JPAP[®]事務局 広報窓口
ムンディファーマ株式会社
安藤 かおる

Tel: 03-6718-2979 Fax: 03-6718-2351

E-mail: kaoru.ando@mundipharma.co.jp

フライシュマン・ヒラード・ジャパン株式会社
秋元 由梨、尾股 寛昭

Tel: 03-6204-4322 Fax: 03-6204-4302

E-mail: yuri.akimoto@fleishman.com